

## 令和5年度 卒業式 式辞

R6. 3. 1

時代が移り社会が変わっても自然の営みは変わることがなく、今年もまた春が巡って来ます。希望と喜び溢れるこの春の良き日に、保護者の皆様のご臨席のもと「第百回松江西高等学校卒業証書授与式」を挙げていきます事は、本校にとりまして大きな喜びです。

本日、卒業証書を手にする皆さん卒業おめでとう。この3年間には、楽しかったことや苦しんだことなど色々なことがあったことと思います。それらを乗り越え今日のこの日を迎えました。皆さんは、本校での3年間の課程を修了した喜びと今後の新生活への期待を胸に、それぞれの道へ進みます。

今、皆さんの脳裏には、どんな事が思い出されているでしょうか。3年前の入学式では、本校の教育テーマである「未見の我の発見」について、「人は自分の中にまだ気が付いていない素晴らしい自分を誰もが持っている」という話をしました。皆さんは日々の積み重ねの中で、一人ひとりがそれぞれの「未見の我」を発見したことでしょう。

皆さんが入学した令和3年は、「東京オリンピック2020」が無観客で開催され、全国的には半年以上に渡る緊急事態宣言や蔓延防止等重点措置の発出により、外出自粛や休業要請に疲弊する声も聞かれる1年となりました。

常にマスクを着用する皆さんは、お互いの素顔を知らずに、今まで当たり前できていたこともできなくなり、たくさんの制約を受けることになりました。始業式をはじめとした集会や進路ガイダンスのリモート実施、中でも沖縄研修旅行の中止は皆さんにとっても大きな出来事ではなかったでしょうか。校内はもちろん日常生活においても、皆さんは「ウイズコロナ」から「アフターコロナ」への高校生活となりました。基本的な感染対策・医療体制のフォローアップや様々な経済対策、感染症法の分類変更等により、昨年は3年ぶりにコロナ禍前の形で学園祭を実施するなど、この3年間で「アフターコロナ」への転換になりつつあります。

一方で見方を変えれば、皆さんの高校生活の学びは唯一無二のものになったとも思っています。この3年の変遷の中で皆さんのニューノーマルは形作られてきています。これは学びの大きな財産です。感染防止のための思考や行動は個人中心ですが、その中でも周囲の大切な人のことを考え、地域社会や日本、更には世界の人を意識しながら自分の在り方を見つめ直せたのではないのでしょうか。世界と自分の行動を繋げて考える事、そんな思考の中で行動を選択し続けたこの3年間は、まさに「未見の我」の実践であり、皆さんの人生におけるキャリアの中で、大変に有用な知識と経験を積んだに違いありません。

その日々の中には、絶えず気遣いながらご家族と周囲の方々の支え、励ましがあったものと思います。是非皆さんから、お世話になった方々へ素直に感謝の気持ちも伝えてもらいたいと思います。

今後皆さんが過ごす社会は、多様な人々との関わりの中で生きていくこととなります。また、皆さん一人ひとりが個性を活かして活躍するために、多様性を重視した行動をとることが必要と思います。そして、その過程で得たコミュニケーション力は、皆さんにとってかけがえのない財産となり、未来の力となるでしょう。

その時代を生きる社会の担い手になる皆さんに伝えたいことがあります。昨年大河ドラマにも出てきた武将、加藤嘉明にまつわるエピソードにこんな話があります。あるとき、嘉明が所有している10枚1組の高価な小皿があり、小姓の1人が誤って1枚を割ってしまいました。それを聞いた時嘉明は、小姓を叱らずなんと残りの9枚をすべて割ってしまいました。残りの9枚がある限り、皆が人の失敗をいつまでも言い続けることになる。だから全部割ってしまう選択をしたのです。この話からは、嘉明が主君としての義を貫いた在り方が伺えます。これから皆さんが地域や社会・世界の中で個性を活かして活躍するために、どう多様性と向き合いどうリーダーとして力を発揮するか、その姿勢が大切になってくるでしょう。

私は、皆さんの持っている力は皆さんが思っている以上に素晴らしいものがあると信じています。どうかこの新しい時代を切り開いていくリーダーとして学び続けて欲しいと願っています。

最近になって、リカレント教育の重要性が指摘される機会が増えました。人生100年時代ともいわれ、常に新しいことを学び続ける姿勢が必要になっており、この変化が大きい社会に於いては、より学び直しが必要な場面が出てくるのではないのでしょうか。

これからの長い生涯には、辛いことや苦しいこと、または難しい選択をすることもあります。その中で、自ら新しいことを学んでいく姿勢によって、自分の道を拓いていってほしいと思います。

今日のこの日を皆さんとともに迎えることができたことを嬉しく思い、心から感謝しています。学校として教育活動を行っていくには、皆さん一人ひとりができることを行っていくことが不可欠であり、このコロナ禍の学校は、皆さんの成長で支えられてきました。「本当にありがとうございました。」

最後になりましたが、お子様の限りない成長を願い、常に深い慈愛を注ぎ、ここまで育てられた保護者の皆様に心からお祝いを申し上げます。3年間、本校の教育活動に深いご理解をいただき、ご支援ご協力を賜りましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。

卒業生の皆さんの今後益々のご活躍と、ご多幸を祈念して式辞と致します。

令和六年三月一日

松江西高等学校 校長 安達 徹